

施策の進捗管理シート

令和 7 年度

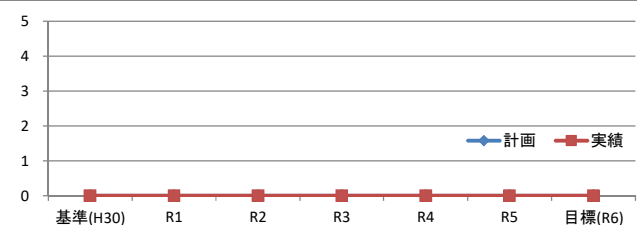
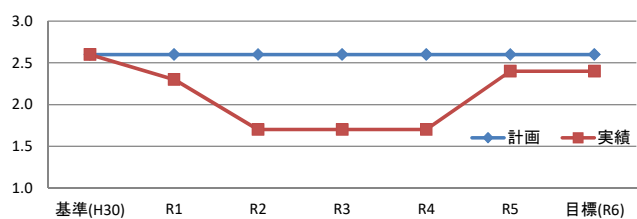
総合 体系 計画	分野	7	第 7 章	効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち	施策統括課	財政課
	施策No.	2	施策名	財政の健全性の確保	課長名 (施策統括責任者)	蘭 哲也
	関係課	財政課 財産活用課 行政マネジメント課 市民税課 資産税課 納税課 出納室				

1. 施策の目標

めざす姿 (成果目標)	市の財政は、計画的、効果的に運営されている。
取組方針	長期的視点に立って計画的な財政運営を進め、財政の健全性の維持・向上を図ります。また、市税等の適正な賦課・収納により、歳入確保に取り組みます。

2. 施策の意図と成果指標

対象 (誰、何を対象としているのか) *人や自然資源等	市の財政						
意図 (この施策によって対象をどう変えるのか)	安定した財政運営を図ることにより、市の財政の健全性を確保する。						
成果指標 A							単位
実質公債費比率							%
H30 基準	R1 計画 実績	R2 計画 実績	R3 計画 実績	R4 計画 実績	R5 計画 実績	R6 目標 実績	
2.6	2.6 2.3	2.6 1.7	2.6 1.7	2.6 1.7	2.6 2.4	2.6 2.4	
成果指標 B							単位
将来負担比率							%
H30 基準	R1 計画 実績	R2 計画 実績	R3 計画 実績	R4 計画 実績	R5 計画 実績	R6 目標 実績	
0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	



3. 市民意向調査結果

施策の重要度	前回	今回	
重要である	55.2%	53.3%	↓
ある程度重要である	36.6%	37.9%	↑
あまり重要ではない	1.6%	4.1%	↑
重要ではない	0.3%	0.2%	↓
順位	3/36位	10/36位	↓

施策の満足度	前回	今回	
満足している	2.4%	3.0%	↑
どちらかといえば満足	40.0%	46.5%	↑
どちらかといえば不満	30.8%	29.5%	↓
不満である	8.0%	5.8%	↓
順位	31/36位	26/36位	↑

#### 4. これまでの取組・成果

- ・交付税措置率の高い市債を積極的に活用した。
- ・限られた財源の中で財政の健全性を確保するために、事業の優先順位付けを行い、歳出の抑制に努めた。
- ・歳入を確保するため、遊休資産の活用・処分、市税収納率の向上に取り組んだ。

#### 5. 指標の達成状況に関する分析

- ・実質公債費比率は、税収の増や交付税措置がある市債の選択をしてきたことにより、目標を達成している。
- ・将来負担比率は、交付税措置がある市債の選択や基金残高の維持に努めたことなどにより、目標値を達成している。

#### 6. 今後の方向性（第3次佐賀市総合計画への反映など）

- ・実質公債費比率は、基本的に維持。ただし合併推進債の終了により、今後は市債及び基金に過度に依存せず、中期財政的な見通しに基づいた財政規律を確立する必要がある。
- ・将来負担比率は、今後も市債借入の適正化と基金残高の一定額の維持に努める。